

たなばたまつり

7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

～ 「なるほど 行事ブック」参照～



お 願 い

日が長くなり、夕方お迎えの後に、園庭でお子さんを遊ばせている方が多く見られます。親子で楽しそうなのですが、三輪車や砂場遊具などが出たままになっていたり、小学生の大きな声にご近所の方も驚かれたりすることがあります。使った遊具はもちろん、使っていないだけでも気が付いたら、お子さんと一緒に片づけていただきますようお願いいたします。また、夕方は、駐車場もいっぱいになりますので、出来るだけ速やかに帰宅されますようご協力をお願いいたします。

絵本の魔法

6月17日から幼児さんは、プールが始まりました。初めて大きなプールに入る年少さんも顔に水がかかってもへっちゃら。年中さん、年長さんは、泳いだり、潜ったりしています。楽しいプールあそびですが少しの油断が大きな事故につながります。危険がどんなところに潜んでいるのか職員間で時間をかけて話し合い、「プールの中で子どもと遊ぶ人」また、「危険な遊び方をしていないか、一人ひとりの顔色はどうか」と全体を見守る人と役割を決めて、大切な命をしっかりと守りながらも楽しいあそびとなるよう取り組んでいきます。

先日、1歳児クラスに食事の片づけの手伝いに行きました。きれいに片付くまで子どもたちは、好きなおもちゃで遊んでいます。片付いたところを見計らって「絵本読もうかな」と保育者が声を掛けました。子どもたちはすぐに保育者の周りに集まり、じっと見入っています。読み終わると「もっかい!(もう一回)」と催促する子ども、大好きな絵本を読んでもらって安心して眠りにはいる子どもなどさまざまです。

1歳児さんに限らず、すいこうの子どもたちは、絵本が大好きです。階段踊り場の小さなスペースに設置してある絵本コーナーには、毎日何組かの親子が絵本を楽しんでいます。そんな様子を見ていた絵本係の職員は、「もっと子どもたちに絵本を楽しんでもらいたい。絵本の貸し出しをすると、親子で楽しんでもらえるのではないかと、昨年から少しずつ準備をしてきました。いよいよ7月から幼児さんに絵本の貸し出しが始まります。詳細については、絵本係よりお知らせがあります。

絵本には、子どもたちを笑顔にする不思議な力があります。8年前、東北で大きな地震が起こった後、辛く悲しい思いをして笑顔が消えてしまった子どもたちに、長谷川義史さんという絵本作家が『らららラーメンちゃん』という絵本を作り、東北の子どもたちに読んであげたことが話題となりました。その絵本の中には、子

どもたちを元気にするフレーズがたくさん入っていました。短い絵本ですが、長谷川さんが絵本を読んだその会場には、まるで魔法がかかったように子どもたちだけではなく、一緒に参加していた大人の笑い声と笑顔があふれていました。絵本は、決して言葉や文字を獲得するためではなく、また、読んだ後「桃太郎、犬次は何が出てきた?」などと、記憶力を試すものでもありません。子どもたちが絵本が大好きな理由は、それぞれの絵本が持っているストーリーの面白さとか、絵の美しさなどありますが、読んであげる大人と子どもが同じ所で笑ったり、悲しい気持ちになったり、ドキドキわくわくする、喜びや楽しさ、悲しさや怖さなどいろいろな感情を共有することが何より心地よく、安心できる瞬間だからなのです。ましてや大好きなお父さん、お母さんのお膝に抱かれて読んでもらう心地よさは、やさしい声とともに子どもの心にずっと残っていくことでしょう。この経験を重ね、読んでもらうことの楽しさを十分味わえた子どもは、小学校に入ると、自分で読む楽しさにかわっていくのです。

また、小さな赤ちゃんたちにも絵本は大切なものです。赤ちゃんは、読んでくれる人のあたたかな語りかけを心の栄養にして、すくすく育ってゆきます。心をこめて読んでもらう絵本の言葉は、赤ちゃんの心にやさしく伝わり、特に大好きなお母さんお父さんに絵本を読んでもらうことで、言葉を聞く喜びを知っていきます。赤ちゃんを膝に抱いて、あるいはごろりと一緒に寝ころんで、親子が互いのぬくもりを感じながら、大人も絵本を楽しむゆとりが持てると思いますね。

梅雨が明けると夏本番です。今年は、手足口病が猛威を振っているようです。例年よりも発疹も大きく、口の中にできると水分も摂れなくなるお子さんもいます。熱中症なども含め、体調管理に十分気を配り、家庭と園とで連携を取りながら、暑い夏を楽しく乗り越えましょう。

園長

魔法シリーズ第2弾
笑顔の魔法

ある朝のこと、こあら組のAちゃんとお母さんが登園してきました。保育者が「Aちゃん、おはよう」と手をすると、満面の笑顔で保育者に抱かれるAちゃん。それを見てお母さんが「Aちゃん、かわいい」と満面の笑顔です。その様子を嬉しそうに話してくれる保育者も満面の笑顔です。

その日は、朝からとても気持ちがよく、私自身満面の笑顔で過ごしました。笑顔って人を幸せな気持ちにさせる魔法のアイテムなのです。



なつまつり

今年も夏祭を開催します。子どもたちの盆踊りの後は、冷やしうどんを食べたり、ヨーヨー釣りなどをして、夏の夜のひと時をご家族そろってお楽しみください。

